

祝 辞

令和2年3月24日

ご卒業・ご修了される皆様、そしてご家族の皆様に、心からお慶び申し上げます。

今春、熊本大学工学部ならびに大学院自然科学教育部・研究科から巣立たれる方の多くは、平成28年4月の熊本地震を経験され、その後大学そして熊本地区が復旧復興する様をご覧になっておられると思います。特に、平成28年4月に入学された方は、入学式を終え新しい学び舎で1週間活動された直後に被災され、多くのご苦勞があったことと思います。その一方で、熊本地震からの復旧復興に際し、大学キャンパス内のみならず、ボランティア活動や、行政・地元企業と連携した活動などを通じ、多くのことを学ばれたことと思います。復旧が進む中、学生諸君が一回りも二回りも遅くなっていく姿を目の当たりにし、次代を託すことのできる人物として社会に巣立たれる日の姿を想像し、楽しみにしておりました。

本来であれば、熊本大学の友人・後輩、そしてご家族とともに、晴れの日を祝っていただけたはずでしたが、昨年末の中国武漢で始まった新型コロナウイルス感染症が、国内でも急速に広がり、大学として卒業式を含めすべての卒業関連行事を中止することが決定しました。

急速なグローバル化が進む中、在学中に国際会議や海外でのインターンシップへ参加するなど海外での活動を経験された方や、世界中から熊本大学に集い共に学んだ留学生と親しく交流された方も多いのではないのでしょうか？ また、今春から社会で活動される方の中には、海外での勤務を想定されている方も少なくないと思います。その一方、今回のような感染症の蔓延が、人的交流のみならず経済面でも大きな影を落とすこととなりました。しかし、この感染症の蔓延と、それによりもたらされた困難を克服することで、新しい知を得ることができると確信しています。前漢時代の書物『淮南子』に由来するといわれる故事成語に「人間万事塞翁が馬」があります。「禍福は予想できない」ことを意味しているとも解されますが、『淮南子』が老荘思想を基礎とした書物であることを考えると、「ありのままを大切にし、柔軟な姿勢で事に望むように」と説いているのかもしれない。

ご卒業・ご修了される皆様や長い間暖かく支えてくださったご家族の皆様に、書面での祝辞となってしまう大変申し訳ありませんが、改めて心よりお祝い申し上げますとともに、皆さんの前途が輝かしいものであることを切に祈ります。本日は誠におめでとうございます。

国立大学法人 熊本大学

工学部長・大学院自然科学教育部長補佐

